

全日本 語りネットワーク ニュース

全日本語りネットワーク

〒376-0006 群馬県桐生市新宿 1-4-33

Tel0277-43-8140 振替 00130-2-114808

<http://members.aol.com/Japankatarinet/>

「八王子おはなし会」のこと

三浦克子

昭和55年8月、「八王子おはなし会」は多摩陵に近い東浅川の「陵南会館」（戦前の御陵駅々舎）で誕生しました。大人5名と、同伴の子ども数名だけの小さなお話会でした。

当時、八王子は「市立中央図書館」の建設検討会が始まる頃で、「陵南会館」はその準備室。またブックモービルの為の書庫でした。

図書館ができる！！お話の部屋が・・・！！と大喜びで、「その部屋で語る語り手を」と言い出したのは、「語り手たちの会の最初

からの会員で、八王子市在住の高橋洋子さんと、新潟下越の方言で語る渡辺和子さん。そして私の三人でした。渡辺さんと私は既に市内で子ども文庫を開き、子ども達に語っていました。

三人が集まれば、直ぐ子育て談義が始まり、「お話は想像力—創造力を育て、思いやりの心や、考える力を育てる。そして何よりも大人達の優しい語り口は子どもの心を安らかに包むもの・・・」等と話し合っているうちに「おはなしの会」発足となったのでした。

当初は仲間集めが大変で、毎回、高橋さんはお誘いの葉書を沢山書いて下さいました。幸い新聞や、公報、タウン紙等に取り上げられ、お陰で次第に輪が広がりました。その頃の記録を見ると、いつも子ども達が、2～3名語っています。2回目には、日野市の図書館員が3名、また武蔵野市からも応援があり、10話も語られました。会場の周辺は自然のままの草原で、会の終了後は草の葉や花で人形を作ったり、駆け回ったり、素朴な楽しい集まりでした。

今年は26年目、その間に中央図書館をはじめ、分館や図書室が開かれ、おはなし会のメンバーも今や50余名となりました。

「ききみみの会」「絹の会」「しずくの会」で毎月勉強会を開き、図書館・小学校・保育園・小児病院・児童館等で語っています。毎年5月の総会には全員が集まり、2日間にわたって皆が一話ずつ語り、それぞれ分会の活動等が報告されて、若い語り手達の明るい姿が見られます。（創設の三名中、高橋さんは都内に移られましたが、超高齢の渡辺さんと私は今も「語りの祭り」に参加したり文庫や図書館で語り続けています）

東京都八王子市